

## 5 報告

### 報告（1） 君津地方社会教育委員連絡協議会研修会について

## 令和元年度君津地方社会教育委員連絡協議会研修会

- 1 趣 旨      社会教育は、これまでも、それぞれの地域において、多様な学びの場や機会づくりに取り組み、人と人がつながる地域コミュニティの維持・形成に努めてきました。  
                地域のみんががポジティブに地域づくりに参加できるようなモチベーションを生み出すには、実施する活動を地域に求められる形にアレンジしていくことで、地域に受け入れられる活動とすることが必要であります。そのために社会教育委員として何ができるのかを考えます。
  
- 2 日時等      令和元年11月8日（金）9：15～12：00  
                第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会 第2日目 分科会
  
- 3 会 場      ウェスタ川越  
                （埼玉県川越市新宿町1丁目17番地17 TEL049-249-3777）
  
- 4 主 催      君津地方社会教育委員連絡協議会
  
- 5 参加者      木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市  
                各市社会教育委員及び関係職員  
                別紙参加者のとおり
  
- 6 日 程      別紙のとおり

# 君津地方社会教育委員連絡協議会研修会 行程表

6:00	6:20	6:40	6:45		8:40	8:50
君津市役所 北側駐車場 【君津市・富津市】	旧木更津市役所跡地 西側駐車場 【木更津市】	木更津金田 バスターミナル 【袖ヶ浦市】	木更津金田IC	アクアライン ～ 関越道	川越IC	ウエスタ川越 着
9:15	12:00	12:15	12:30	14:30	14:30	
第50回関東甲信越静 社会教育研究大会 第2日目 分科会	分科会 終了	ウエスタ川越 発	川越大師 喜多院 【周辺で昼食】	川越大師 喜多院 【集合】	川越大師 喜多院 拝観	
15:00	15:10		17:05	17:10	17:30	17:50
川越大師 喜多院 発	川越IC	関越道 ～ アクアライン	木更津金田IC	木更津金田 バスターミナル	旧木更津市役所跡地 西側駐車場	君津市役所 北側駐車場

第50回 関東甲信越静社会教育研究大会

# 埼玉大会

令和元年11月7日(木)・8日(金)  
川越市・ウエスタ川越



「大好き川越!!」川越市立牛子小学校 飛藤 颯哉さんの作品  
平成30年度 川越市子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」ベスト見つけ賞入賞作品

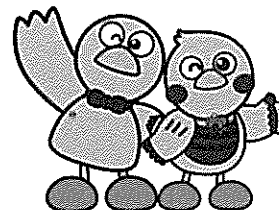
令和元（2019）年度  
第50回 関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会

1 大会スローガン

今、時代が変わる 人が変わる そして社会が変わる！  
～ さあ動き出せ “学び” の先へ ～

2 研究主題

あなたはどうか生きる？ 人生100年時代！  
～ 主役はあなた 明るく心豊かな社会の実現 ～



埼玉県マスコット  
コバトンとさいたまっち

3 趣旨

2019年は、「関東甲信越静社会教育研究大会」も第50回を迎え、半世紀の節目を数えます。また、元号も平成から新元号・令和に変わりました。まさに新しい時代の幕開けです。

そこで私たちは、この年を『新社会教育元年』と位置付けました。これまで社会教育が歩んできた道のりを見つめ直しながら、『明るく豊かな未来』の実現に向けて、時代に即した新たな社会教育を模索し、行動していかなければなりません。そのためには、私たち自身が学びなおすことが大切です。

「不易流行」。私たちは、これまで積み重ねた活動や培った文化から学び、変わってはならないものは尊重し、より効果的に伝承しつつも、これまで経験したことのない新しい文化や価値観、そして目まぐるしく変化する時代の中で、どのような活動が求められているのか、その在り方や手法を見極め、志を持って学び、行動する使命があるのではないのでしょうか。

輝ける未来の主役はあなたです。本大会は、来たるべき新時代にどう生きるか、一人ひとりの幸せや心の豊かさとは何かを真剣に討議し、新時代に向けた実践の必要性を発信（発信）するため、社会教育について研究・協議することを趣旨とします。

4 主催・共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会、第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会実行委員会、埼玉県教育委員会、川越市教育委員会

5 後援・協力（順不同）

さいたま市教育委員会、埼玉県公民館連絡協議会、埼玉県PTA連合会、一般社団法人埼玉県PTA安全互助会、埼玉県高等学校PTA連合会、一般社団法人埼玉県子ども会連合会、埼玉県家庭教育振興協議会、埼玉県図書館協会、埼玉県地域婦人会連合会、埼玉新聞社、公益社団法人日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会、埼玉県博物館連絡協議会、埼玉縣市町村教育委員会連合会、埼玉県町村教育長会、埼玉県中学校長会、埼玉県公立小学校長会、埼玉県高等学校長協会、テレ玉、一般社団法人埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、川越商工会議所、株式会社まちづくり川越、生涯学習政策研究会さいたま 他

6 期日

令和元年11月7日（木）～8日（金）

7 会場

主会場 川越市・ウェスタ川越 埼玉県川越市新宿町1丁目17番地17

TEL: 049-249-3777（大会内容に関する問い合わせはご遠慮ください）

〈全体会〉 大ホール 〈分科会〉 ウェスタ川越内各施設

- 8 参加者 関東甲信越静各都県及び政令指定都市の社会教育委員・社会教育担当職員をはじめ  
 公民館担当者、社会教育・生涯学習関係者・地域連携を担当する教職員  
 (本大会への参加を希望する方は、どなたでも歓迎します。)

- 9 参加費 一人 3,500円(資料代)

- 10 大会報告書 1冊 1,000円(参加費には含まれていません)

11 大会日程

11月7日(木) 全体会	11月8日(金) 分科会
全体会(ウエスタ川越)	分科会(ウエスタ川越内各会場)
11:00 受付開始(多目的ホール)	9:00 受付開始
12:00 歓迎セレモニー(大ホール)	第1分科会 1階多目的ホール AB
12:45 開会行事	第2分科会 1階多目的ホール CD
13:15 基調講演	第3分科会 2階活動室1・2
14:45 休憩	第4分科会 4階大会議室
15:00 シンポジウム	第5分科会 1階講座室1・2号
16:30 休憩	9:15 分科会開始
16:40 大会宣言	12:00 分科会終了
17:00 次年度大会PR(新潟県)	※それぞれの会場ごとに解散。
17:15 閉会	
情報交換会(川越東武ホテル)	
18:00 受付開始	
18:30 開宴(閉宴予定20:30)	

12 基調講演

演題 「学びがひらく 豊かな人生」

講師 学校法人 文教大学学園 理事長 野島 正也 氏

13 シンポジウム

テーマ 「あなたはどうか生きる? 人生100年時代!」

登壇者 コーディネーター 加藤 大輔氏(日高市高萩北地区青少年健全育成の会理事)  
 アドバイザー 小池 茂子氏(聖学院大学教授・元さいたま市社会教育委員)  
 シンポジスト 羽石 貴裕氏(NPO法人彩の国自然学校C' S代表  
 ・前埼玉県社会教育委員)  
 平野 和弘氏(駿河台大学講師・飯能市社会教育委員)  
 田中 悠子氏(快サークル コロネット 代表)  
 福山 瑞稀氏(本川越駅観光案内所勤務・県内在住大学生)

14 分科会

分科会・会場	実施方法	テーマ
第1分科会 1階多目的ホールAB	事例研究	社会教育の担い手としてのあり方
第2分科会 1階多目的ホールCD		人生100年時代における社会教育の実践
第3分科会 2階活動室1・2	グループ協議	市民と行政のパートナーシップ
第4分科会 4階大会議室		人材発掘、養成、フォローアップのあり方
第5分科会 1階講座室1・2号		社会教育のネットワークづくり

<実施方法についての補足>

- ・事例研究: テーマに沿った事例発表を聞き、社会教育関係者としての資質向上を図る。
- ・グループ協議: 小グループに分かれ、テーマに沿って自身の活動や経験を話し合う。

# 「今、時代が変わる 人が変わる そして社会が変わる！」

関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会実行委員会

現代社会は、人間の長寿命化（人生100年時代）、人工知能（AI）やIoT（Internet of Things）の進展等の急速な技術革新による「Society5.0」の到来等、目まぐるしい変化の中で、人々の関心も日々変化しています。

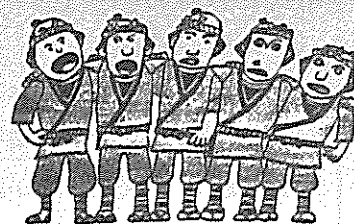
こうした中、少子高齢化に伴う人口減少や働き方改革、外国籍の市民の増加など、私たちの日々の暮らし方も変化しています。地域活動においては、地縁組織のあり方が問われる機会も増えています。

平成30年12月の中央教育審議会答申では、地域における社会教育の意義と果たすべき役割として、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりを提唱しています。

私たちは、長くなった人生をより豊かで幸せに過ごすため、健康長寿の知識のみならず、ライフスタイルやライフステージに合わせた多様な就労のあり方や文化・余暇活動の習得など、多くのことを学ぶ必要があります。

また、社会では情報技術や社会構造の変化を悪用した犯罪やSNSを利用したいじめ、情報リテラシーの低下など、新しい技術の功罪が取り沙汰されることも増えてきました。さらに、地域の特性に応じた防災活動への意識も高まっています。

今後の学びの役目は、個性や一人ひとりの人権を尊重しつつ、地域みんなが力をあわせて新しい時代の技術やネットワークを駆使し、多くの人とつながりながら、社会とともに幸せになる力を身につけていくこと。このことが、地域全体の生きがいつくりにもつながると思うのです。さあ、いまこそ学びの力で新しい社会を創っていきましょう。



## ★ 分科会のリノベーション ★

いま、地域活動においては、これまで培ってきたノウハウの伝承や組織の維持が課題の一つとなっています。しかし、伝承すべきは活動内容や組織だけなのでしょうか。地域のみんながポジティブに地域づくりに参加できるようなモチベーションを生み出すには、実施する活動を地域に求められる形に昇華する必要があると思います。

今回の分科会では、第1分科会で、地域（自治体）に着目し、社会教育の担い手がどのように地域の学びを構築していくのか、その様子をご覧ください。第2分科会では、様々な主体が実践を通じて様々な世代や地域住民を活動に巻き込んでいく姿をご覧ください。

第3から第5分科会では、それぞれの分科会テーマに基づいて話し合ってください、皆さんのめざす地域像を描いていただけたら幸いです。なお、話し合いが円滑に進むよう、数々の話題をご提供いただきましたので、話し合いの参考としてください。

各事例・話題を、成功例としてそのまま持ち帰り提言するのではなく、自分の住む地域になじむ形にアレンジしていくことで、地域に受け入れられる活動に進化することでしょう。みなさんが行う提言・答申・建議が輝ける地域の未来につながれば、こんなにうれしいことはありません。

（大会全般に関するお問い合わせ）

第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会実行委員会

〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市教育委員会地域教育支援課内

電話 049-224-6086(直通) FAX049-226-4699 メール [chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp](mailto:chiikikyoiku@city.kawagoe.saitama.jp)

大会公式サイト <https://kb50th.social-education.saitama.jp/>

実行委員長 西村 平雪 事務局担当 遠藤 大介

関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会 分科会一覧

	分科会テーマ	ファシリテーター	担当
第1分科会	社会教育の担い手としてのあり方 (事例研究)	久喜市教育委員会生涯学習課 (久喜市) 課長補佐・社会教育主事 渡辺 充範	埼玉葛地区 協議会
	埼玉県 久喜市	久喜市の特色ある社会教育事業を発表するとともに、社会教育活動の第一線で活躍している方々によるパネルディスカッションを行います。	
	分科会 構 想	パネラーが、参加者から問題・課題を収集し、久喜市の事例や個々の体験を基に、解決策を探ります。問題・課題を共有し、一緒に考えましょう。	
第2分科会	人生100年時代における社会教育 の実践 (事例研究)	滑川町立滑川中学校 (埼玉県滑川町) 校長 八木原 利幸	比企地区 協議会
	千葉県 浦安市	浦安市における回想法の展開 ～高齢者による高齢者のための回想法ボランティア～ (浦安思い出語りの会)	
	神奈川県 横浜市	市ヶ尾ユースプロジェクト～中高生による、まちと未来づくり～ (NPO法人まちと学校のみらい)	
	分科会 構 想	様々な世代を巻き込んだ地域活動は、地域を元気にする力を持っています。 一人ひとりの未来も大切ですが、地域全体の未来も考えてみませんか。	
第3分科会	市民と行政のパートナーシップ (グループ協議)	NPO法人 みらいず works (新潟県新潟市) 代表理事 小見 まいこ	北埼玉地区 協議会
	話題提供 (埼玉県)	NPO法人さやま生涯学習をすすめる市民の会 (狭山市) 富士見市地域子ども教室 (富士見市) 町ぐるみん白岡 (白岡市)	
	分科会 構 想	市民と行政が関わって地域課題の解決を図る・方法にはどんなものがあるでしょうか。 行政との会議、市民アンケート、NPO法人の設立など、市民と行政のニーズをマッチングさせる方法を探りましょう。	
第4分科会	人材発掘、養成、フォローアップ のあり方 (グループ協議)	さいたま市社会教育委員 (さいたま市) 宮地 孝宜 (東京家政大学専任講師)	大里地区 協議会
	話題提供	家庭教育アドバイザー (埼玉県) 学校応援コーディネーター (埼玉県)	
	分科会 構 想	「くじ引きやじゃんけんじゃない! 地域の担い手は、こうしてつくられる!」 自分が地域の役割を引き受けたきっかけや決心につながった言葉は何でしたか? 「仕事の引き継ぎ、レクチャーの仕方。バトンタッチの良い方法は?」	
第5分科会	社会教育のネットワークづくり (グループ協議)	埼玉県社会教育委員 (埼玉県) 青山 鉄兵(文教大学准教授)	入間地区 協議会
	話題提供	関東近県生涯学習・社会教育実践研究交流会 (茨城県) 子ども大学 (埼玉県) 社会教育委員建議を生かした「ネットワーク会議」の取組 (埼玉県)	
	分科会 構 想	「あなたの地域には、どんなところに人が集まっていますか?」 学校、公民館、お店、誰かの家…。身近なところで人が集まっている場所は。 「人々がつながる力を必要とするのは、どんな時ですか?」 人とつながりを持っていて「よかった」と感じたときはありませんか。	

※皆さんの普段の活動の様子がわかるもの(活動報告・広報等)を持ち寄りましょう。  
 ※参加登録後、分科会への参加を取りやめる場合は、お手数ですが大会事務局へお申し出ください。  
 少人数のグループ編成に支障が出てしまうため、事前連絡への御協力をお願いします。

# 第54回

# 千葉県社会教育振興大会

## 人づくり・つながりづくり・地域づくり



期 日 令和元年11月28日(木)

会 場 千葉県総合教育センター

主催 千葉県社会教育委員連絡協議会



## 第54回千葉県社会教育振興大会開催要項

### 1 趣 旨

人生100年時代を迎えようとしている我が国は、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けて、人工知能（AI）やビッグデータの活用などの技術革新が急速に進展する一方、少子高齢化や人口減少、地域コミュニティの衰退、貧困と格差、子どもの虐待など、様々な課題に直面しています。

そのような社会変革の中、昨年12月の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」において提言されたとおり、これからの地域社会を持続可能なものにするとともに、人生100年時代における個人の充実した人生を実現するためには、社会教育の視点から地域が抱える課題解決を図る方策として、学びと活動の好循環の下、「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」の重要性が一層高まっています。

さらに、新たな社会教育の方向性として、SDGs（「持続可能な開発目標」）の理念を踏まえ、誰一人として取り残さない社会づくりを目指し、より幅広い地域住民の参画と、社会教育委員をはじめ、NPOや大学、企業等、多様な主体との連携・協働が期待されるなど、「開かれ、つながる社会教育」の実現が求められています。

そこで、社会教育委員をはじめ社会教育関係者が一堂に会し、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」をテーマに、社会教育の振興と生涯学習の推進に向けて研究を深めるとともに、より一層の進展を目的として本大会を開催します。

2 テーマ 「人づくり・つながりづくり・地域づくり」

3 期 日 令和元年11月28日（木）

4 会 場 千葉県総合教育センター メディア教育棟1階 大ホール  
（所在地）千葉市美浜区若葉2-13

5 主 催 千葉県社会教育委員連絡協議会

6 参加者 社会教育委員，社会教育指導員，家庭教育指導員，社会教育関係団体  
社会教育関係職員，社会教育・生涯学習に関心のある方

7 日 程 受付 9：30～10：00

(1) 開会行事 10：00～10：40

ア 開会の言葉

イ 主催者挨拶

ウ 千葉県社会教育委員連絡協議会表彰

エ 被表彰者代表挨拶

オ 来賓祝辞

カ 祝電披露

(2) 基調講演 10:40～11:50 (謝辞含む)

※千葉県教育委員会主催社会教育専門講座「生涯学習実践研修会」

演 題 「これからの社会教育のかたち

～開かれ、つながる社会教育をめざして～

講 師 全国社会教育委員連合 常務理事 馬場 祐次朗 氏

～ 昼食・休憩 ～

(3) 事例発表及び分科会 13:00～15:15

ア 第1分科会 『地域づくりと社会教育』

事例発表：香取地区

( 発表者 神崎町社会教育委員 千葉 貴美子 氏  
神崎町教育委員会 課長補佐 本宮 賢 氏 )

イ 第2分科会 『防災教育と社会教育』

事例発表：東総地区

( 発表者 旭市社会教育委員会議 議長 花香 寛源 氏 )

ウ 第3分科会 『子育て支援と社会教育』

事例発表：山武地区

( 発表者 大網白里市子ども会育成連絡協議会  
会長 八角 榮子 氏 )

(4) 閉会行事 15:30～16:00

ア 分科会報告

イ 決議文採択

ウ 閉会の言葉

8. 参加費 1人 3,000円

9 その他

(1) 各市町村とも多くの参加(例年、表彰者を除く7～10名)をお願いします。

(2) 駐車場については、他の研修等の状況により当日混雑することも考えられますので、時間に余裕をもってお越しください。

〔基調講演〕 10:40～11:50 会場：大ホール

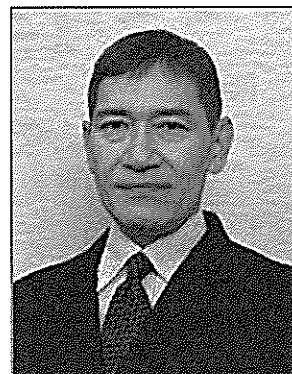
令和元年度社会教育専門講座「生涯学習実践研修会」（千葉県教育委員会）

演題 「これからの社会教育のかたち  
～開かれ、つながる社会教育をめざして～」

講師 全国社会教育委員連合 常務理事 馬場 祐次郎 先生

《講師プロフィール》

文部科学省（旧文部省）入省，長年にわたり社会教育行政に従事した後，国立根室少年自然の家（現国立根室少年自然の家）所長，国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長，徳島大学教授・大学開放実践センター長等を経て，現職。



【講演メモ】

〔事例発表及び分科会〕 13:00～15:15

第1分科会（1階大ホール）「地域づくりと社会教育」

第2分科会（3階A605）「防災教育と社会教育」

第3分科会（3階A701）「子育て支援と社会教育」

【演 題】

<香 取>

「発酵の里こうざき」のまちづくりと社会教育

【発表者】

神崎町社会教育委員

千葉 貴美子 氏

神崎町教育委員会

課長補佐 本宮 賢 氏

【発表概要】

県下で一番小さい町・神崎。農業が基幹産業で、少子高齢化が進んでいます。酒蔵まつりや圏央道神崎ICの開通、道の駅発酵の里こうざきのオープン等をきっかけに、発酵の力で健康・笑顔の住みよいまちづくりをしよう！という機運が町を挙げて高まりつつあります。また、発酵以外でも、それぞれの立場での住みよいまちづくりが進められており、町の「社会教育計画」をつくる職務を負う社会教育委員は、何をすべきか・・・等について研修を続けています。

【演 題】

<東 総>

防災教育と社会教育

【発表者】

旭市社会教育委員会議

議長 花香 寛源 氏

【発表概要】

東日本大震災を振り返り、有志団体の取組を学校での取組と比較しながら紹介します。計画的な学校教育とは対照的に、実践的でありながら自主性が求められる防災に係る社会教育について、その活動を継続させる動機付けについて提言します。

【演 題】

<山 武>

大網白里市の子ども会活動とジュニア・リーダーの育成

【発表者】

大網白里市社会教育委員

八角 榮子 氏

【発表概要】

社会教育における子どもの健全育成という観点から、市子ども会としての役割や、子どもたちの社会体験、地域の異世代交流の場となる行事の実施、ジュニア・リーダーの育成等について、これまでの活動事例を挙げながら発表します。

## 台風15号に関する社会教育施設等についての意見

- ・各公民館は防災拠点としての機能が働くように、電源、水、燃料、通信ができる機材をそろえる。電源車（リーフ等のEVを配置）、夏（扇風機、冷風扇等の避難者への対策）、冬（石油ストーブ、カセットコンロ等の熱源）
- ・災害時を含め地域自治会の活用と充実に努める。自治会を有名無実としておくのではなく、権限を与え災害時も含めた自治対応の中心にする。
- ・広報そでがうらの防災アナウンスが聞きづらい。もう少し通る声の人で放送したほうが良い。
- ・公民館や学校への避難勧告が出されても広報無線の音声聞き取りにくい。
- ・避難所での生活マナーやルール作りを明確にしたほうが良い。
- ・根形公民館の停電が長かったが、なぜ、もう少し早くから使用ができなかったか。
- ・市民会館の避難所において、夜に毛布が無かったと聞いたが、通学合宿用の寝袋などは出せなかったのか。
- ・災害が頻繁に起きるようになって来ると以前のように生涯学習を楽しむというよりは、それで培った人間力をいざというとき発揮できる人づくりをしていかなければと思います。
- ・台風当日に家屋損壊や雨漏りで被災し、家にとどまれない人は親類宅に身を寄せたと聞いた。千葉で初めての大きな災害とはいえ、危機管理に対するHOW TOが全く生かされなかった。また、避難した人の中に体調を崩して家に戻った人がいたという話を聞いて、避難所は災害に対してどのような備品や機材の用意をすべきなのか検討する必要があると感じた。
- ・公民館や図書館、学校等の公共機関にも、非常用電源の配置を進めるべきかと思う。

# あの人に会える「三学」

## 第3回市民三学大学講座

通算：275回

ガウラ健康マイレージ  
対象事業

今年度の第3回目の三学大学は前園真聖さんを講師にお迎えします。元サッカー日本代表の前園さんにサッカー教室、トークショーを行っていただきます。なお、サッカー教室は見学のみとなります。



【講師】<sup>まえ その まさ きよ</sup>前園真聖さん

・元サッカー日本代表

### サッカー教室（見学のみ）

#### 『レッツトライ！「前園サッカー教室」』

日時：12月14日（土） 午前10時～正午

会場：袖ヶ浦市総合運動場陸上競技場

（雨天時：袖ヶ浦市臨海スポーツセンター）

※雨天時、サッカー教室は会場を変更いたします。  
変更となる場合、当日の午前8時に防災行政無線にて放送いたします。

### トークショー

#### 「フォー・ザ・ミラクル ～チャレンジすることの素晴らしさ～」

日時：12月14日（土） 午後1時30分～午後2時40分

会場：袖ヶ浦市民会館 大ホール

1992年に鹿児島実業高校からJリーグ・横浜フリューゲルスに入団した。1996年のアトランタオリンピック本大会では、ブラジルを破る「マイアミの奇跡」などをチームキャプテンとして活躍し、ブラジルのサントスFC・ゴイアスECなど海外クラブでプレーした。

現在はメディアに出演しながら、ZONOサッカースクールを主催し、普及活動を行っている。

主催 袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課

協力 袖ヶ浦市サッカー協会

事前申し込み不要  
**入場自由**  
手話通訳あり

保育あり（12月6日までに  
生涯学習課へ申し込み）

《問い合わせ》 袖ヶ浦市教育委員会 生涯学習課 0438-62-3743



袖ヶ浦市

# 新春マラソン大会参加募集



袖ヶ浦市「新春マラソン」を開催します！

袖ヶ浦市マスコットキャラクター「ガウラ」

体力づくりに、皆様のご参加をお待ちしています！！

日 時： 令和2年1月11日（土） 受付：8時 開会式：9時

会 場： 袖ヶ浦市陸上競技場及びその周辺コース（集合場所：陸上競技場）

種 目：	① 1.0 km	小学生1・2年	9:25 頃	}	男子・女子
	② 2.0 km	小学生3・4年	9:40 頃		
		小学生5・6年	9:55 頃		
	③ 3.0 km	中学生	10:15 頃		

	④ 5.0 km	一 般	11:00 頃	}	男子・女子
	⑤ 10.0 km	一 般	10:15 頃		

※一般には、高校生を含みます

参加資格： 市内在住小学生以上 （年齢 令和2年1月1日現在とする）

参加費： ① 小中学生 200円 ②一般（高校生含む）400円

※傷害保険料を含みます。 当日受付で納入してください。

申込期限： 小中学生は、12月18日（水）までに担任の先生に提出してください。

一般の参加者は、12月20日（金）までに社教連協事務局へ。

表 彰： (1)各種目1位から3位までの入賞者に賞状、メダル、記念品を差し上げます。  
(2)参加者全員に参加賞があります。

主 催： 袖ヶ浦市体育協会 後援：袖ヶ浦市教育委員会

問い合わせ：社教連協事務局 電話（62）3139 FAX（62）4950